

**専攻医
の主張****きっかけ**

マツダ病院 整形外科 五島 寛治
(現 広島大学病院 整形外科)

初めまして、元マツダ病院整形外科の五島寛治と申します。

現在は広島大学病院整形外科に勤めており、マツダ病院では研修医時代を含めると今年3月までの4年間勤務させていただきました。

振り返ると密度の濃いあっという間の4年間でしたが、せっかくなのでどうして私自身が整形外科医になろうと思ったのかそのきっかけを書かせていただこうと思います。

私は小さい頃から体を動かすことが好きで、2002年の日韓W杯で中田英寿選手の活躍を見たことをきっかけに小学生3年生からサッカーを始めました。結構飽きやすい性格なため人生の中で長続きしたことというのはサッカーと、あとはやらざるを得なかった勉強ぐらいのものでサッカーだけは小学生から大学生まで続けることができました。ただその中で1つ問題がありました。それは、とてもけがしやすい体質だったということです。競技生活の中で通算4回の骨折と捻挫、肉離れなど小さいものまで含めると数え切れないぐらいのけがをしました。中高生の頃はけがするたびに地元の整形外科の先生にお世話になり、言いつけを守らず早めに復帰しては再発してしまうようなどしようもない患者でしたが当時の先生は真摯に私自身と向き合って診察してくださったことを覚えています。

今考えればその先生との思い出が私自身、整形外科医を志そうと思った原点なのだと思います。

その後は広島大学医学部医学科に入り、漠然と「医者になるとしたら整形外科かな」などと考えておりましたが、研修医として働き始めたマツダ病院で副院長をされている月坂先生との出会いが最後の一押しとなりました。一つの自分の憧れ・目標とする人に出会えたなと思い、整形外科医として働いていくことを決めました。もちろん手術の楽しさであったり、患者さんが元気になって帰っていく姿を見ることができることだったり他にも決め手はたくさんありますが何よりもこの出会いが大きかったなと感じています。

まだまだ勉強することもたくさんあり、目標ははるか遠いところにあるなと感じている今ですがあらためてこうして文章を書いた時に自分が整形外科医になりたいと思ったきっかけを整理できました。人それぞれたくさんのきっかけはあると思います。それが私自身は人との出会いであり、長く続けたスポーツでした。将来何かに迷った時はこのことを思い出して、半人前が一人前になることができるようにこれからもコツコツ（骨骨）と頑張っていきたいと思っています。

専門医共通講習の受講に 日医e-ラーニングを活用いただけます



専門医の更新申請に必要な共通講習受講単位数は、5年間で必修講習（医療倫理・医療安全・感染対策）を各1単位以上、全ての共通講習受講単位を合わせて3単位以上10単位以内です。日医e-ラーニングには、専門医共通講習単位を取得できる講座が10件（2021年9月現在）ありますので、ご活用ください。

ホームページアドレス

日医HP > メンバースルーム > 医学図書館・生涯教育 >
日医e-ラーニング